

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 産業振興課		内線等	1261
事務事業名	癒しとアンチエイジング推進事業費			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等	蒲郡市癒しとアンチエイジング推進事業費補助金交付要綱			Dその他	Dその他	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	工業
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	癒しとアンチエイジングの郷推進協議会に対して、
手 段	生涯健康に関する先進的なサービス及び製品の研究開発及び事業化に対して補助することにより
想定する成果	地域及び地場産業の活性化を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
総事業費	-	4,285千円	5,335千円
補助金額	-	3,212千円	4,000千円
実施事業	-	4事業	3事業

成果指標

成果指標名	完了事業
成果指標の説明	完了事業数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		-				2件				0件			
成果指標		-				-				-			
事業費	事業費	-				3,212				4,000			
	人件費	-				781				785			
	(人数)	正規		非常勤		正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	-				3,993				4,785			
財源内訳	国	-											
	県	-											
	市債	-											
	その他	-											
	一般財源	-				3,993				4,785			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	-	2	-	試作の段階で商品化までにはいたっていない。
経済効率性	1	-	2	-	商品化するのに数年の単位を要する。
事務効率性	2	-	2	-	開発したものが、商品化できるのかまだ未知数の状況にある。
必要性	2	-	3	-	産業の停滞を打破するため、関係団体で新産業の創出の必要性がある。
小計	7	0	9	0	
施策への貢献度	2	-	2	-	商品化に対して職員の派遣をし、商品開発の一翼を担っている。
合計	9	0	11	0	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	-	B	-	商品が具体的になりつつあるが、産業創出にむすびつくまで、まだ数年を要する。
------	---	---	---	---	---------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

